

第2回白馬村食育推進会議 会議録（要約）

召集年月日	平成28年11月16日（木）午後3時			
召集の場所	白馬村役場 2階 201会議室			
開閉会の日時 及び宣言	開会	平成28年11月16日（水）午後3時	副会長	田中 榮一
	閉会	平成28年11月16日（水）午後4時45分	副会長	田中 榮一
出席者数	委員数18名の内 出席者15名			
出席委員	職名	氏名	職名	氏名
	委員	鎌倉 重子	委員	滝澤 達也
	委員	田中 みつる	委員	石野 真
	会長	松沢 正猛	委員	横川 辰彦
	委員	福島 和子	委員	田中 隆弘
	委員	大久保 ちひろ	委員	太田 昭子
	副会長	田中 榮一	委員	中村 豊
	委員	平林 真一	欠席委員 堀内 亜矢子 柏原 英司 窪田 久義	
	委員	塩島 弘之		
	委員	大林 禮子		
事務局	健康福祉課長	太田 洋一	農政課長	横山 秋一
	健康福祉課 健康づくり係長	工藤 弘美	農政課 課長補佐	下川 啓一
	健康福祉課 管理栄養士	丸山 美和	農政課 主事	山岸 大輝
傍聴者	なし			

## 1. 開 会

〔田中副会長〕 開会を宣言した。

## 2. あいさつ

〔松沢会長〕 第2回協議会への出席に対しお礼を述べ、事務局で作成した素案をもとによりよい計画づくりにつながるよう、活発な意見を求めるとともに有意義な協議となるようお願いした。

## 3. 協議事項

### (1) 経過について

〔議長：松沢会長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：丸山〕 前回第1回会議でいただいたご意見をもとに事務局で素案を作成し、あらかじめ大町保健福祉事務所の意見を求め、修正したうえで事前に各委員へ素案を送付したところである。本日は各委員から事前に出された意見をもとに事務局で再修正した素案について、協議したうえで素案としてまとめていきたい旨説明。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めたが、特になく次の協議へ進んだ。

### (2) 素案について

〔議長：松沢会長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：丸山〕 計画素案、資料1により、各委員から事前に出された意見をもとに修正した箇所について説明。また、意見を求め検討したい箇所について、それぞれ意見を求め検討していきたい旨説明。

〔事務局：丸山〕 素案第1章に関し、修正箇所について説明。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めたが、特になく次の協議へ進んだ。

〔事務局：丸山〕 素案第2章1白馬村の概況、(1)健康に関する概況の修正箇所について説明。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めたが、特になく次の協議へ進んだ。

〔事務局：丸山〕 素案第2章(2)の修正箇所について、及び、意見を求め検討したい箇所について説明。別紙資料、長野県児童生徒の食に関するアンケートグラフについて、計画に調査結果を差し替え・追加したい旨説明。

〔事務局：太田課長〕 当初、村で行った小中学生に向けたアンケートは保護者の回答であり、今回資料としてあるアンケートは児童本人が回答している事が大きな違い。保護者と本人回答では回答に差があり、児童本人が回答したものの方が、より現実的と考えるか、意見を求め検討していただきたい旨説明。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

〔石野委員〕 アンケートの実態内容を計画資料編に追記するのならば問題はない。

〔事務局：工藤係長〕 第1回会議では今回のデータはなく使えなかったが、学校栄養士さんの方から栄養士の立場として子供たちを見たとき、朝食摂取100%は現実味がないのではとの意見いただき、アンケート調査と実態調査ということで2種の調査を根拠とさせて頂きたい。

〔事務局：丸山〕 間食、共食に関しても、小中学生のグラフを追加したい。

〔議長：松沢会長〕 グラフの追加をする旨説明し了承を得、次の議題に進んだ。

〔事務局：丸山〕 素案第2章（3）の修正箇所について説明。表を新たに追加した旨、郷土料理についてグラフを追加したい旨説明。

〔太田委員〕 地場産野菜の使用状況に関し、給食で使う分の何割にあたるかを参考までに記載してはどうか。自給率が上がることに繋がるのではないか。

〔議長：松沢会長〕 使えるデータを学校と共有し、年間量中の中でどれだけ使っているかの数を記載できたら良い。

〔事務局：横山課長〕 ②の農家戸数が減少しすぎているが、調査期間に震災があり、適正な調査が出来ていない可能性がある。地産地消の根拠としては参考にならない。農家の数を入れるのか、地場産参加人数をいれるか検討したい。

〔議長：松沢会長〕 事務局の方で食育にそった内容のものを提示していただく旨説明し了承を得、次の協議へ進んだ。

〔事務局：丸山〕 素案第2章（4）について修正箇所の説明。

〔議長：松沢会長〕 「食意識」というのはあまり聞きなれないことばのように感じるが。

〔事務局：丸山〕 表現の統一を意識したが、分かりづらくなってしまったので「食に関する意識の概況」としたい。

〔議長：松沢会長〕 質疑・意見を求めたが、特になく次の協議へ進んだ。

〔事務局：丸山〕 素案第2章3について修正箇所の説明。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めたが、特になく次の協議へ進んだ。

〔事務局：丸山〕 素案第3章基本理念について国の第3次食育推進計画の方針に合わせ、共食ということ意識していきたい旨を説明。

〔中村委員〕 共食にふり仮名をふってはどうか。

〔鎌倉委員〕 前後のつながりがわかりにくいので、単語を切らずに、文中を「様々なつながりの中で、健やかな心とからだを育み」と1つの文章として考えてはどうか。

〔議長：松本会長〕 文章がつながらないというご意見出たが、今回提示したテーマのもとになるものがあるのか。

〔事務局：工藤係長〕 委員さんから「豊かな自然と農ある暮らしに感謝し、共食と連帯の中で育む人とのつながり、健やかな心とからだ」にしてはどうかというご意見いただいた。それをふまえ、個々よりも村全体のイメージとして掲げるため、以前の「…のむら」という表現を残しつつ、委員さんより頂いた意見をもとに編成したところ、辻褃の合わないところが生じてしまった。ご意見をもとに練り直したい。

〔議長：松沢会長〕 アピールするにふさわしいものになるよう、一度事務局で修正をかけていただくことで了承を得て、次に進んだ。

〔事務局：丸山〕 素案第3章基本目標について、国の第3次食育推進計画の目標の方針に合わせ「〇〇の推進」を大きな指標として掲げ、今までの目標は実践的な具体例として副題として取り入れた旨説明。

〔中村委員〕 地産地消についての目標（副題）は前回のものから変更になっているが、地産地消については「体制づくり」という表現はあった方がいいのでは。

〔事務局：太田課長〕 前計画の目標と全く同じものでいいのかという考えから変更した。基本目標の変更のご意見はとても有難く、地産地消の部分に関しても変化を取り入れたいと考えたが、ご意見合あったように体制づくりは重要であり、実際のところをお聞きしたい。

〔中村委員〕 実際は高齢化が進み、栽培体制としては前回よりも悪化している現状。食育を進める上で後継者の問題は重大。野菜の高騰などによる輸入の増加など。

〔鎌倉委員〕 文化食とはなにを指すのか。

〔事務局：太田課長〕 郷土食と文化食の境目ははっきりしていないところがある。文章を改めて検討。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めたが、特になく次の協議へ進んだ。

〔事務局：丸山〕 素案第4章食育ボランティアについて訂正。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

〔中村委員〕 食改はどうしてなくなってしまったのか。

〔事務局：工藤係長〕 高齢化が進み、役員の受け手がないことも加え、存続が難しくなってしまった。  
気がるに若い方も参加できるよう平成27年から組織改革をさせて頂いた。

〔福島委員〕 役員の担い手がないのが一番大きい。小谷、池田、松川は頑張っている。若い人が中心  
となって動いてくれるといい。食改でなくてもできることがあるがもったいない。今白馬にはみ  
んなが何かを作っただすという機会がない。

〔田中副会長〕 小谷の食育フォーラムに行った際、皆が白馬の食改を望んでいると知った。

〔田中委員〕 代わりの食育ボランティアとしてやっているが、さらに組織を拡大し、食改に近い組織とな  
っていてほしい。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めたが、特になく次の協議へ進んだ。

〔事務局：丸山〕 素案第4章5重点項目について追加したい旨説明。

〔中村委員〕 重点を置くのは大事だが、とらわれ過ぎると基本目標が見失われる可能性があるのではな  
いか。それぞれの分野で得意なところから活動していく方が、全体の重点を決めてしまうよりも  
順調に進むのではないか。

〔石野委員〕 5年の順番は意味があるのか。

〔事務局：丸山〕 活動を始めるにあたって、まず組織の団結は重要と思い連携の強化を最初に。地産地  
消・食文化についてはアンケート結果からの重要度を考慮した。一番の最終目的という意味で最  
終年度に生活習慣病の項目をおかせていただき、その環境を整える意味で、共食を前年にさせて  
いただいた。

〔横川委員〕 この表現だとこの年度はこれしかやらないといった印象を受けてしまう。この5つが5年  
後にどう伸びるかといった見せ方の方がわかりやすいのでは。

〔事務局：工藤係長〕 皆様の意見も最もだが、今までの5年間も皆様にはこの項目には取り組んでい  
ただいていたが、なかなか活動が表に見えてこないというところがあり、せつかく関係機関が集ま  
っているのに、一緒に何かできないかというご意見も頂いたので、各項目に対してそれぞれの立  
場からご意見いただければ取り組みの幅が広がると思います提案させて頂いた。

具体策が出ないまま毎年過ぎてしまうので、連帯を強化する機会があってもいいのではないか  
といった考え。

〔石野委員〕 食文化の継承は共食の推進を優先すべき。流れにストーリー性を持たせることによって進みやすいのでは。個々でやるべきことは当然あるのでそれはしっかりやりつつ、何か1つのストーリーに合わせて着実にやっていく事は重要なのではないか。年度分けの表記は変えた方がいいかもしれない。

〔平林委員〕 11月28日に味覚の授業を開催。共食のスタイルの中でうま味をテーマとし、だしを使い食文化に触れる機会にしたい。ここで共通基盤に立つのは難しい。それぞれできることをし、情報交換をし、関わるところで関わることのできるようお願いしたい。

〔大林委員〕 14日に大町、小谷、白馬の地場産を使う調理会を行ったがなかなか人が集まらない。12月2日に防災食を地元のものをつかい行う。皆さんに参加していただきたい。個々でやるのは重要だが、お互いの意見交換や勉強は必要なのでは。すべてに共通することなので重点項目があってもよいのではないのか。

〔議長：松沢会長〕 項目を定める方がいいのか、アピール方法を考えるかなど、まとめ方がいくつかあるので、大まかにまとめ、また、委員にお配り頂きたい。

〔事務局：丸山〕 素案第5章 について修正箇所について説明。

〔中村委員〕 幼稚園と保育園一緒にしていただきたい。栄養士はいないが連携していきたい。

〔事務局：工藤係長〕 食と健康を考える会がたまたま保健師と栄養士から始まった会で、お声をかけられないでいたが、そうやっていただけるとありがたく、ぜひ一緒にやっていただきたい。

〔滝澤委員〕 農業改良普及センターの所属に関し、大町保健福祉事務所が行政関係ならば、同じく行政関係のくくりにしていただきたい。

〔田中委員〕 年次ごとに重点的な取り組みをとった表記がある。関連をどうするか。

今まではそれぞれが点であって結びついていたところがあった。個々の課題はもちろんだが大きな目標に向けての活動も重要でないか。困っている事なども助け合う機会も協議会の意義になるのではないか。小谷村は毎月共通のテーマで食育の日を設けている。

〔中村委員〕 村全体よりも、食育推進協議会としての重点項目ならばあってもよい。

〔議長：松沢会長〕 うまくどう使うかが難しいと思うが、どう協力していくか、毎年の目標等事務局で検討していただき、春先に話し合うなど検討することで了承された。

### (3) 今後の進め方について

〔議長：松沢会長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：丸山〕 資料2により、策定に向けての今後の事務局の考えと、計画素案の意見募集（パブリ

ックコメント) 実施について説明。策定に向け、意見を伺いながらよりよい計画策定に向け、引き続き協力を求めたい旨説明。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対し、意見を求めたが特になかった。

#### 4 その他

〔事務局：太田課長〕 事務局で重要な事項を預かっているので、いったん事務局で練りなおさせて頂き、委員様に再度修正したものをお送りし、ご意見いただきたい旨説明。

〔議長：松沢会長〕 事務局の説明に対し、意見を求めたが特になかった。本日の協議をもとに、事務局で素案を再度修正していくこととなる。今後他に意見があれば、事務局へ早めに伝えるとともに、修正・検討を重ねて行っていただきたい旨伝え、今後の進め方について了承された。

#### 5. 閉 会

〔田中副会長〕 閉会を宣言した。

終了 16:45

以 上